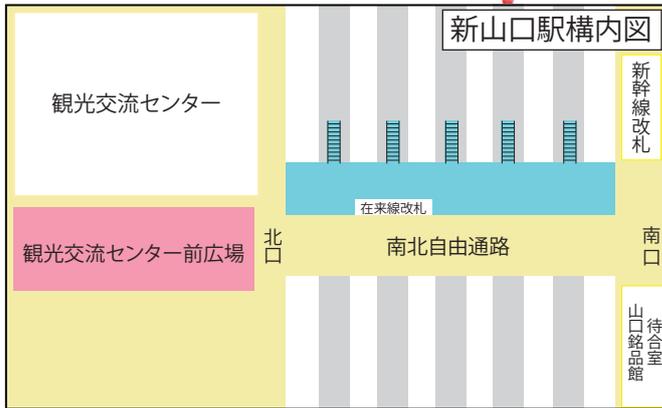


全国金魚すくい選手権大会 山口市予選会2019

参加
無料

2019 7月6日(土)

会場 新山口駅南北自由通路
(観光交流センター前広場)
受付 10時~11時
競技 11時15分~(予定)



金魚すくい全国大会への出場をかけた山口市予選会です。(要事前申込み)

- 競技内容 3分間で1枚のポイ(すくい網)で何匹すくえるかを競います。ポイがやふれた時点で終了です。
- 参加資格 山口市在住の方、または当日公共交通機関で会場へお越しの方
- 種目定員 ①小中学生の部・・・100名 ②高校生一般の部・・・100名

優勝・準優勝の方は、8月18日(日)に奈良県大和郡山口市で行われる「第25回全国金魚すくい選手権大会」への出場権を得ることができます。(山口観光コンベンション協会が旅費の一部を負担します)上位5位には賞品あり♪

- 申込方法 以下の事項を記入の上、山口観光コンベンション協会までハガキ・FAX・メールでお申し込みください。

参加種目・氏名(フリガナ)・年齢(学年)・性別・〒住所・連絡先TEL・保護者氏名(小・中学生の部のみ)・メールアドレス

- 申込期間 2019年6月3日(月)~28日(金) ※先着順、定員になり次第締切りです。参加者にははがきorメールで通知します。

申込み
問合せ

(一財) 山口観光コンベンション協会

<TEL>083-933-0088 <FAX>083-933-0089 <メール>info@yamaguchi-city.jp
〒753-0042 山口市惣太夫町2-1 (JR山口駅2階)

Webサイト
西の京やまぐち



大会終了後には金魚のプレゼントもあり！当日お手伝いいただけるボランティアも大募集中！！

【後援】山口市／山口市教育委員会／JR西日本／おごおり地域づくり協議会／一般社団法人吉南青年会議所

<大会参加にあたって>

大会に申込み及び参加された場合、以下の内容について全て了承したものとします。

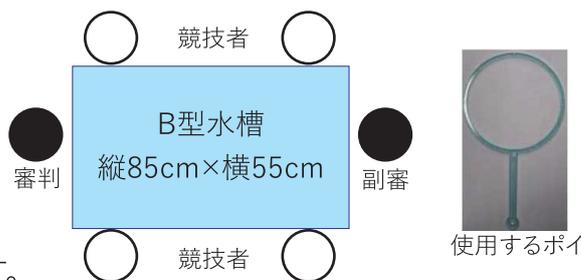
- 申込みした本人以外の代理参加は禁止いたします。
- 大会中の判定については、全て主催者の決定に異議が無いものとします。
- 大会中の事故については、参加者の責任において処置するものとします。
- 主催者は応急処置以外その責任を一切負わないものとします。
- 大会参加者は、大会中に撮影された写真の使用・ホームページへの掲載について、異議が無いものとします。

<競技方法>

開会式終了後、受付順で①小・中学生の部と②高校生・一般の部の予選を行います。

競技は1水槽当たり2～4名で行い、競技は全て3分間に1人1枚のポイ(すくい網)で何匹すくえるかを競います。ポイは試合前に5枚の中から選べます。

- ①小・中学生の部
予選上位12名が決勝へ進出
- ②高校・一般の部
予選上位12名が決勝へ進出



※上記は予定で、参加人数に応じて上位の人数は変更します。

※決勝戦の同成果の場合のみ決定戦を行います。

その他の場合は審判員立会いの下、じゃんけんにより順位の設定をするものとします。

※練習用プールを設けています(1回100円)。

<注意事項>

- 競技は片手(利き腕)だけで行ってください。両手を使うのは反則です。ポウルは水に浮かせた状態にし、遠くに流された場合は、ポイを持った手で引き寄せて下さい。
- ポイは柄の部分を持って下さい。紙が貼ってある円の部分を持つのは反則です。
- 3分以内でも、金魚がすくえない状態までポイが破れた場合は、競技終了となります。
- 金魚がすくえなくなったポイの枠で金魚を引っかけてすくおうとするのは動物愛護の精神に反しますので、失格となります。
- 水槽の壁を使ったこすり上げ(壁すくい)は禁止です。
- 他の選手に迷惑をかけるような行為や審判員に対する暴言等の行為も競技停止とします。
- 競技が終了したら、審判が計数します。反則行為によりすくった金魚は、計数しないこととします。

この大会は全国金魚すくい競技連盟の公式ルールに準じて行うものです

競技用具

- ①用具は全て主催者において用意したものを使用する。
- ②水槽の大きさは競技種別により自由に選択するが、今回は標準規定の縦85cm、横55cm、深さ18cmを使用する。
- ③すくいネットはその様式は自由とし、内径は8cm以内とする。
- ④紙は5号を使用するものとする。
- ⑤金魚収容ポウルはおわん型とし、内径は16cm以内とする。
- ⑥水深は10cm以上とする。
- ⑦水温は摂氏15度～30度とする。
- ⑧競技中はエアポンプの使用を中断するものとする。ただし、競技中金魚が著しく弱った場合、エアポンプを使用する場合がある。

金魚の数量

- ①1水槽の収容の数量は500匹以内とする。

競技の反則

- ①競技者は競技中必ず片手にて競技を行い、他の片手を水中に入れたり、収容ポウルに触れてはならない。

競技開始と終了

- ①競技の開始及び終了は審判長(司会)の合図によるものとする。
- ②開始の場合:1分前に競技者は所定の位置につき、5秒前に「用意」の掛け声、「はじめ」の合図で競技開始。
- ③終了の場合:30秒前に「あと30秒」の掛け声。5秒前からカウントダウン。「それまで」の合図で競技終了。
- ④競技時間内にすくいネットが使用不能になった時、又は不正行為の認定を受けた時は、その競技者は競技を中止しなければならない。

競技者の心得(マナー)

- ①競技者は常に金魚すくい技術の練磨につとめると共に動物愛護の精神を涵養し、競技中は金魚に愛情をもって接するものとする。
- ②競技中、同水槽競技者に迷惑を及ぼすような行為をしてはならない。
- ③競技中、大声を出したり、談笑したり、他の競技者の集中力を妨げるような行為をしてはならない。